

|           |                       |
|-----------|-----------------------|
| 教材名：魂をこめて |                       |
| 主題名：弱さの克服 | 内容項目：D (22) よりよく生きる喜び |

- 1 ねらい 人間には自ら弱さや醜さを克服する強さや気高く生きようとする心があることを理解し、人間として生きることの喜びを見いだそうとする心情を育む。

## 2 授業展開例

|                       |
|-----------------------|
| 学習活動（主な発問と予想される生徒の反応） |
|-----------------------|

### ◇ 映像資料を視聴し、教材に対する興味関心を高める。

- ① 加賀友禅を知っていますか。

- ・金沢の伝統工芸だよ、美しい着物だな
- ・友禅作家は、強い思いで一生懸命に作品を作り上げているのだな

### ◇ 教材を読んで話し合う。

- ② 開きかけのまま置いてあった拓也のノートを見たとき、康介はどんなことを思ったでしょう。

- ・なんて素晴らしいデザインなんだ、自分にはかなわない
- ・拓也の才能がうらやましくてたまらない
- ・自分もがんばっているのに、こんな風に描けない、悔しいし情けない
- ・自分もこんなデザインが描けたなら・・・

- ③ 師匠の顔も拓也の顔もまともに見ることができなくなった康介はどんなことを考えていたのでしょうか。

- ・あの時は、拓也のデザインが頭から離れず自分のものにしてしまったが、今思うとなんて卑怯なまねをしてしまったのでしょうか
- ・こんな自分が恥ずかしくて、苦しくてたまらない
- ・正直に言えればよいのだろうが、こんなこと言えやしない

- ④ 涙を流している康介はどのような気持ちだったのでしょうか。

- ・本当のことを話して謝らなければ、もう次に進めない
- ・辛さから逃げずに、真剣に作品作りに向き合って、美しい作品を作れるようになりたい
- ・師匠や同僚を裏切ってしまった、申し訳ない

### ◇ 自分自身を見つめる。

- ⑤ 今まで自分の心の弱さに向き合った経験はありますか。振り返ってみましょう。

- ・苦手なことから逃げたり、やりたくないことを後回しにしてしまったりしたことがある
- ・部活動の辛い練習で、手を抜いたり、サボったりしたことがある

### ◇ 教師の説話を聞く。

## 3 指導上の留意点及び工夫

- ・①では、映像資料を視聴し、友禅の美しさや、その作品作りに友禅作家が真摯に向き合っていることを捉えさせる。
- ・③では、良心の呵責にさいなまれるものの、弱さに向き合えない康介の心情に迫る。
- ・④では、師匠の言葉と見事な友禅を目の当たりにして涙する康介に共感させ、職人としての誇りや志等と関連づけながらねらいに迫りたい。

## 4 参考資料

- ・映像資料集（中学校）「16 魂をこめて」

|           |                     |
|-----------|---------------------|
| 教材名：魂こめて  |                     |
| 主題名：弱さの克服 | 内容項目：D（22）よりよく生きる喜び |

- 1 **ねらい** 人間には自ら弱さや醜さを克服する強さや気高く生きようとする心があることを理解し、人間として生きることの喜びを見いだそうとする心情を育む。

## 2 授業展開例

### 学習活動（主な発問と予想される生徒の反応）

#### ◇ 映像資料を視聴し、教材に対する興味関心を高める。

- ① 友禅作家は、どのような思いで作品を作っているのでしょうか。

- ・美しい着物を作りたい
- ・着る人に喜んでほしい
- ・誰も作ったことのないものにしたい

#### ◇教材を読んで話し合う。

- ② 康介についてどう思いますか。

- ・あせっていたとしても、してはいけないことをした
- ・最後に涙を流しているの、とても後悔していると思う
- ・悪いことだとは思いますが、康介の気持ちは少しわかる気がする

- ③ 真摯に作品と向き合う師匠の心とはどのようなものなのでしょうか。

- ・うまくいなくてもあきらめずに努力しようとする
- ・自分の仕事に誇りをもとうとする
- ・人と比べずに自分のことに集中する
- ・自分の弱さに負けずに向き合う

- ④ 弱さに負けそうなとき、自分に恥じない行動をするためには、どうすることが大切でしょう。

- ・自分自身がどうなっていきたいのか、じっくりと考えること
- ・人にも自分にも恥ずかしくないかを問い続け、苦しいときがあっても逃げないこと
- ・誰にでも弱さはあるけど、それを強さに変えようとしていくこと

#### ◇ 今日の学習で感じたことや考えたことについて振り返る。

## 3 指導上の留意点及び工夫

- ・②では、自由に感じたことを伝え合う中で、教材の内容を把握できるようにする。
- ・③では、グループ活動を設定し、多様な考えを出し合えるようにしてもよい。
- ・④では、良心に従って生きることの喜びや難しさについて、自分の経験をもとにして考えたり話し合ったりできるようにするとよい。
- ・ふり返りでは、「私たちの道徳」P121を活用することも考えられる。

## 4 参考資料

- ・映像資料集（中学校）「16 魂をこめて」